



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	182,111	△3.1	13,445	7.5	14,211	8.9	9,832	18.6
28年3月期第2四半期	188,023	4.0	12,508	17.4	13,054	15.1	8,288	6.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,130百万円 (△86.3%) 28年3月期第2四半期 8,269百万円 (△36.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	96.27	—
28年3月期第2四半期	81.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	342,091	264,185	74.0
28年3月期	345,396	266,200	74.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 253,278百万円 28年3月期 255,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年3月期	—	30.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	3.1	29,000	2.4	30,000	1.7	20,500	11.6	200.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	110,881,044株	28年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	8,751,481株	28年3月期	8,751,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	102,129,593株	28年3月期2Q	102,130,144株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、アジア新興国を中心とした経済成長の減速や英国のEU離脱問題等により海外経済の不確実性が高まり、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は182,111百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益は13,445百万円（前年同四半期比7.5%増）、経常利益は14,211百万円（前年同四半期比8.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,832百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、101.05円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、119.92円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、コンビニエンスストア向けの販売が競争の激化により減少したこと、また採算性を重視した販売を優先したことから、売上高は15,539百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。一部魚種の原料価格の改善が進み、セグメント損失は22百万円（前年同四半期はセグメント損失232百万円）となりました。

海外即席麺事業は、アメリカでは厳しい販売環境の中、量販店での特売や新商品の投入等積極的な販促活動を行いました。好調な雇用環境や賃金の増加による消費者心理は即席麺カテゴリーには追い風とならず縮小傾向が続いております。メキシコでは現地通貨安の進行により厳しい販売環境が続いておりますが、袋麺の拡販等により販売数量は増加しました。その結果、円高の影響もあり売上高は32,541百万円（前年同四半期比19.6%減）となりました。セグメント利益は、原材料価格の低下等により現地通貨ベースでは増益となりましたが、円高の影響により5,286百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

国内即席麺事業は、カップ麺では基幹商品である「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」を中心とした和風麺シリーズや「マルちゃん正麺 カップ」が好調に推移したほか、主力商品の「麺づくり」や、オープンプライス商品の「ごつ盛り」が引き続き堅調に推移しました。袋麺は、市場全体が厳しい環境の中、「マルちゃん正麺」シリーズで新フレーバーを投入するなど需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は55,514百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。セグメント利益は、ブランド強化のための販売促進費や広告宣伝費の増加はありましたが、売上増に加え、動力費や物流コスト等が減少したことにより3,833百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

低温食品事業は、生麺類では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが好調に推移しましたが、季節商材の冷しラーメン類が減収となり、全体では前年並みとなりました。チルド・冷凍食品類では、主力商品のしゅうまいは前年並みに推移しましたが、冷凍食品は価格競争が激化し減収となりました。その結果、売上高は35,186百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。セグメント利益は、主力商品の伸長による利益の増加に加え、不採算商品の見直しなど収益強化への取り組みにより、2,487百万円（前年同四半期比21.9%増）となりました。

加工食品事業は、主力商品の米飯は、ライフスタイルの変化や品質に対する認知度の上昇、自然災害に対する備蓄需要の増加による拡大基調が続く中、積極的な販促活動により、増収となりました。フリーズドライ製品は主力の5食入り袋スープを中心に、量販店等で好調に推移しております。その結果、売上高は10,067百万円（前年同四半期比8.5%増）、セグメント利益は328百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

冷蔵事業は、平成28年3月に福岡アイランドシティ物流センターが稼働したことや、積極的な営業活動を実施したことで受託品取り扱いが好調に推移し、売上高は8,658百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。セグメント利益は、福岡アイランドシティ物流センターの稼働にともない減価償却費が増加しましたが、動力費等の経費削減と売上増が寄与し、995百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は24,605百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は886百万円（前年同四半期比143.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は3,304百万円減少し342,091百万円、純資産は2,014百万円減少し264,185百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に建物及び構築物、機械装置及び運搬具が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は74.0%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7,614百万円(27.7%)増加し、35,124百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ1,154百万円(7.7%)減少の13,931百万円となりました。これは主に、売上債権の減少により資金は増加しましたが、仕入債務及び未払費用の減少により資金が減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ17,746百万円(90.4%)減少の1,875百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出が増加しましたが、定期預金の払戻による収入が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ595百万円(22.1%)増加の3,292百万円となりました。これは主に配当金の支払額が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成28年5月13日に発表しました見直しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,564	68,403
受取手形及び売掛金	48,899	47,685
有価証券	39,000	39,000
商品及び製品	15,424	15,888
仕掛品	472	465
原材料及び貯蔵品	4,827	4,990
繰延税金資産	1,679	1,524
その他	3,711	4,343
貸倒引当金	△490	△493
流動資産合計	187,088	181,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,245	60,060
機械装置及び運搬具(純額)	25,130	26,689
土地	35,584	35,314
リース資産(純額)	3,069	3,106
建設仮勘定	5,716	1,098
その他(純額)	1,195	1,252
有形固定資産合計	124,940	127,519
無形固定資産		
その他	3,054	2,853
無形固定資産合計	3,054	2,853
投資その他の資産		
投資有価証券	28,105	27,665
繰延税金資産	1,273	1,380
退職給付に係る資産	65	67
その他	868	796
投資その他の資産合計	30,312	29,911
固定資産合計	158,308	160,284
資産合計	345,396	342,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,975	24,170
短期借入金	274	263
1年内返済予定の長期借入金	30	—
リース債務	216	252
未払費用	19,506	18,654
未払法人税等	3,515	2,870
繰延税金負債	2	4
役員賞与引当金	168	102
その他	2,800	3,263
流動負債合計	50,489	49,580
固定負債		
リース債務	3,958	4,051
繰延税金負債	4,211	3,791
役員退職慰労引当金	227	197
退職給付に係る負債	18,551	18,645
資産除去債務	315	315
その他	1,443	1,324
固定負債合計	28,707	28,325
負債合計	79,196	77,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,517	22,517
利益剰余金	213,567	220,336
自己株式	△8,225	△8,225
株主資本合計	246,830	253,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,806	7,379
繰延ヘッジ損益	△47	△43
為替換算調整勘定	3,218	△5,424
退職給付に係る調整累計額	△2,377	△2,230
その他の包括利益累計額合計	8,599	△319
非支配株主持分	10,770	10,906
純資産合計	266,200	264,185
負債純資産合計	345,396	342,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	188,023	182,111
売上原価	120,866	113,997
売上総利益	67,156	68,114
販売費及び一般管理費	54,648	54,668
営業利益	12,508	13,445
営業外収益		
受取利息	188	339
受取配当金	219	251
持分法による投資利益	58	50
賃貸収入	179	169
雑収入	371	317
営業外収益合計	1,016	1,128
営業外費用		
支払利息	141	134
賃貸収入原価	43	34
為替差損	85	63
雑損失	200	130
営業外費用合計	470	362
経常利益	13,054	14,211
特別利益		
固定資産売却益	1	8
補助金収入	—	1,092
その他	0	—
特別利益合計	1	1,100
特別損失		
固定資産除売却損	50	36
関係会社株式評価損	25	307
減損損失	224	512
その他	0	1
特別損失合計	301	857
税金等調整前四半期純利益	12,754	14,454
法人税、住民税及び事業税	4,645	4,544
法人税等調整額	△425	△113
法人税等合計	4,220	4,430
四半期純利益	8,534	10,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	246	191
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,288	9,832



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	8,534	10,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	△424
繰延ヘッジ損益	△32	3
為替換算調整勘定	△48	△8,643
退職給付に係る調整額	85	161
持分法適用会社に対する持分相当額	9	10
その他の包括利益合計	△264	△8,893
四半期包括利益	8,269	1,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,006	913
非支配株主に係る四半期包括利益	263	217

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,754	14,454
減価償却費	5,511	5,555
減損損失	224	512
持分法による投資損益(△は益)	△58	△50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	266	315
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15	△29
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	36	△66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	3
受取利息及び受取配当金	△407	△591
支払利息	141	134
為替差損益(△は益)	85	63
有形固定資産除売却損益(△は益)	48	28
売上債権の増減額(△は増加)	△1,665	917
たな卸資産の増減額(△は増加)	312	△956
仕入債務の増減額(△は減少)	2,250	337
未払費用の増減額(△は減少)	964	△694
その他	△727	△1,985
小計	19,731	17,947
利息及び配当金の受取額	358	599
利息の支払額	△141	△134
法人税等の支払額	△4,862	△4,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,086	13,931
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,089	△23,138
定期預金の払戻による収入	6,992	31,217
有価証券の取得による支出	△48,000	△50,000
有価証券の償還による収入	45,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△9,326	△9,437
有形固定資産の売却による収入	78	37
無形固定資産の取得による支出	△733	△156
投資有価証券の取得による支出	△561	△421
貸付けによる支出	△1,155	△1,059
貸付金の回収による収入	1,171	1,075
その他	1	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,622	△1,875

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	491	418
短期借入金の返済による支出	△473	△430
長期借入れによる収入	30	—
長期借入金の返済による支出	△20	△30
子会社の自己株式の取得による支出	△2	—
配当金の支払額	△2,547	△3,063
非支配株主への配当金の支払額	△72	△81
その他	△102	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△3,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	△1,148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,164	7,614
現金及び現金同等物の期首残高	33,680	27,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,515	35,124

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	16,732	40,449	53,944	35,672	9,278	8,241	164,318	23,735	188,053	△30	188,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	264	—	8	—	0	534	806	244	1,051	△1,051	—
計	16,996	40,449	53,952	35,672	9,278	8,775	165,125	23,979	189,104	△1,081	188,023
セグメント利益 又は損失(△)	△232	5,690	3,654	2,041	317	952	12,423	364	12,788	△279	12,508

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△30百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△279百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円、棚卸資産の調整額△75百万円及びその他の調整額268百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	15,539	32,541	55,514	35,186	10,067	8,658	157,506	24,605	182,111	-	182,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	497	-	-	-	-	438	936	228	1,164	△1,164	-
計	16,036	32,541	55,514	35,186	10,067	9,097	158,443	24,833	183,276	△1,164	182,111
セグメント利益 又は損失(△)	△22	5,286	3,833	2,487	328	995	12,909	886	13,795	△350	13,445

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△350百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△603百万円、棚卸資産の調整額11百万円及びその他の調整額240百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。